

会 告 (I)

日本鉄鋼協会第 51 回 (春季) 講演大会講演募集

明春 4 月東京に於ける講演大会に於て講演御希望の方は下記要領お含みの上奮つてお申込み下さい (開催日時及場所は後でお知らせします)

- (1) 講演申込期日 昭和 30 年 12 月 10 日の締切を勵行いたします。
- (2) 講演申込先 東京都千代田区丸ノ内 2 の 10 仲 14 号館 1 号日本鉄鋼協会宛
- (3) 申込用紙 ヘガキ大の紙片に (a) 講演題目, (b) 講演者 (学位, 称号, 振仮名付氏名), 連名のときは実際の講演者に○印を附すること, (c) 幻燈の要否, 以上お書き下さい。
(講演時間は 20 分以内とす)
- (4) 講演前刷用原稿 申込と同時に協会所定の 400 字詰原稿用紙 6 枚以上 10 枚以内とし〔図表ある場合はこの枚数内にて3 個以内 (3 個で原稿用紙 5 枚に相当, 但し例えば第一図 (a) (b) (c) (d) 等の並列図は紙面を多く取りますので避けられたし〜詳細な図表は講演会場で発表して頂き後で論説として御寄稿の際に御添付願います) にとどめ, 尙図面は寄稿規定に従つてお書き下さい〕協会宛送付のこと (原稿用紙は 1 冊 30 枚綴り 30 円, 送料 8 円でお頒けします) 原稿の冒頭には講演題目 (英訳併記), 勤務先, 講演者氏名を明記して下さい。
- (5) 講演前刷原稿は研究の内容が予め充分了解出来るようにして特に研究の結論を詳細に御記載下さい。
- (6) この講演前刷は会誌『鉄と鋼』昭和 30 年 3 月号として刊行致しますので編集及び印刷の都合上締切後の受付は致しませんから原稿は期日迄に必ず御送付願います。
- (7) 講演される方は会員に限りますので, 会員外の方で講演御希望の方は入会の手続終了後御申込み下さい。

電子顕微鏡の応用活用に関する特別大会開催

日 時 昭和 30 年 11 月 26 日 (土) 27 日 (日) の 2 日間

場 所 東京都千代田区大手町二丁目産経会館国際展示場

電子講演会 (予定)

電子顕微鏡の発達史

電子顕微鏡の原理

資料のつくり方

電子顕微鏡像と回折像

電子顕微鏡の金属材料への応用

〃 無機材料への応用

〃 高分子材料への応用

〃 医学における応用

(芝浦製作所) 瀬藤 象二

(阪 大) 菅田 栄治

(東 大) 深見 章

(東 工 大) 本庄 五郎

(東 大) 谷 安正

(東 大) 水渡 英二

(東 工 大) 久保輝一郎

(東 大) 東 昇

電子顕微鏡実演展示説明会

わが国電子顕微鏡メーカー並びに海外著名メーカーの製品について行う。

研究発表募集

内 容: 電子顕微鏡を応用した研究

申込方法: 研究題目, 研究者名, 講演希望時間, 所属, 連絡先を明記の上高分子学会電子顕微鏡大会係 (東京都中央区日本橋 3 丁目 9 繊維会館内) に 10 月 10 日までに申込のこと。

共 催 団 体

高分子学会, 日本鉄鋼協会外

＝ 会 告 II ＝

“鉄と鋼” 寄稿規定

昭和30年1月より寄稿規定を下記の如く改正しましたので御注意下さい(1月号及2月号に既載)

1. 論文は本誌に載せる前に他の学協会誌に発表されないものに限る。
2. 論文は本協会講演大会または地方講演会で予め発表したものであることを原則とする。
3. 原稿用紙は本協会所定のものを用いること。請求あり次第(30枚綴1冊30円)お送りする。
4. 原稿の長さは、図表を含めて会誌5ページ(400字詰原稿用紙25枚)を超えないこと。
5. なるべく平易な口語体を用い、左横書とし、漢字はなるべく当用漢字を用い、かなづかいは新かなづかひによること。
6. 論文には必ず欧文要旨(タイプライター用紙1枚以内)を、その和文と共に添附すること。日本語標題と欧文標題とは必ず一致するように書くこと。
7. 図、表、写真はなるべく少くし同一事項を図、表両方で表わさないこと。図、写真は合せて1論文10個以内を原則とし、編集委員会で取捨することがある。
8. 図、写真数表には欧文の題目または説明を必ずつけること。
9. 図および数表中の文字は欧文で書くこと。
10. 図は巾を70mm程度に縮写しても明瞭に判読できるようにすること。図中の文字は鉛筆書きとすること。
11. 図、写真は別紙とし、原稿中にその挿入個所を明示すること。
12. 図は白紙または淡青色方眼紙に墨できれいに書き、直ちに凸版にできるようにすること。青写真は用いないこと。
13. 表はなるべく本文中に挿入すること。
14. ゴシック、イタリックを指定するときは、その文字の下にそれぞれ——、~~~~を附すること。
15. 数字およびギリシヤ文字は丁寧に記載し、混同し易い文字等は特に注意して書くこと。
16. 数学式は印刷に便利のように注意し、本文中に挿入するときは a/b , $x/(a+b)$ のように書き、行の上下に出ないようにすること。
17. 参考文献は著者名、雑誌名、巻数、発行年度、号数、ページ数の順に記載すること。抄録、翻訳もこれに準ずる。
18. 原稿は編集委員会で取捨訂正することがある。
19. 単位、記号を表わすには次の例に従うこと。

km	キロメートル。	cm ³	立方センチメートル。	cal	カロリー。
m	メートル。	mm ³	立方ミリメートル。	A	アンペア。
cm	センチメートル。	h	時。	mA	ミリアンペア。
mm	ミリメートル。	mn	分。	V	ボルト。
μ	マイクロン。	s	秒。	mV	ミリボルト。
Å	オングストローム	km/h	キロメートル・毎時。	Ω	オーム。
t	トン。	m/s	メートル・毎秒。	kW	キロワット。
kg	キログラム。	cm/s	センチメートル・毎秒。	W	ワット。
g	グラム。	kg/cm ²	キログラム・毎平方センチメートル。	°C	度(温度目盛)
mg	ミリグラム。	kg/mm ²	キログラム・毎平方ミリメートル。	%	パーセント。
m ²	平方メートル。	mmHg	水銀柱ミリメートル。	Ni-Cr-Mo	鋼 ニッケル・
cm ²	平方センチメートル。	mmAq	水柱ミリメートル。		クロム・モリブデン鋼
l	リットル。	kcal	キロカロリー。		

会 告 (III)

塑性加工専門講演会プログラム

(高分子学会, 精機学会, 塑性加工研究会, 日本金属学会, 日本鉄鋼協会, 日本機械学会連合)

7月号会告に予告して置きしてました通り上記6学協会共催の塑性加工専門講演会は愈々下記プログラムにより開催されることとなりましたので, お繰り合せ, 御聴講下さい。

日 時 昭和30年11月10日(木), 11日(金)

場 所 日本交通協会(千代田区丸の内3の4 国鉄有楽町駅, 都電馬場先門または日比谷下車)

第1日 (11月10日) 9時30分開会(*印 講演者)

- (1) Cook and Larke の圧縮試験について(25分) 井上 信雄
- (2) 軟鋼の塑性曲線(20分) 高瀬 泰二
- (3) ねじり引張試験機および鋼の降伏について(15分) *齋藤 浩一, 塩田 治雄, 井垣 久
- (4) 線材の捻回試験について(15分) 鈴木 弘, 橋爪 伸, *伊藤 保男, 内野 照雄
- (5) りん青銅線の伸線試験(黄銅を含む)(25分) 鈴木 弘, *橋爪 伸
- (6) 銅線の精密伸線法(第2報) 標準インダクタンス製作法に関する研究(15分) *小林 昭, 長岡純一

午後の部 13時開会

特別講演 欧米の自動車工業について(1時間) 中川 良一

- (7) 鋼管の押し抜き試験について(15分) 鈴木 弘, *日比野文雄, 井上 勝郎
- (8) 鋼管の逆張力引抜加工に関する研究(第1報)(25分) 鈴木 弘, 井上 勝郎*今井 宏
- (9) 鋼管の実用試験について(25分) 岡本 豊彦
- (10) 衝撃押出力の算定(15分) 福井 伸二, *工藤 英明, 清野 次郎
- (11) 円筒形の圧印加工(15分) 工藤 英明
- (12) 押明け穿孔加工法(第4報)(15分) 久能木真人

第2日 (11月11日) 9時30分開会

- (13) プラスチックスの切削加工法の研究(15分) 小林 昭, 塚田 為康
- (14) 各種薄板材料に対するせん断速度の影響(15分) 前田 禎三
- (15) せん断加工工具用材料の摩耗試験(20分) 齋藤 博
- (16) 薄板の曲げ加工の研究(第4報)(15分) 益田 森治, *森田 稔
- (17) 薄板の塑性曲げについて(第6報)(20分) 戸沢 康寿
- (18) 円筒深絞り容器の残留応力(第1報)(15分) 馬場秋次郎
- (19) 円筒深絞り容器の残留応力(第2報)(15分) 馬場秋次郎

午後の部 13時開会

特別講演 欧米の航空機工業における塑性加工について(1時間) 小山荘之助

- (20) 深絞り加工におけるしわの発生について(15分) 宮川 松男
- (21) 深絞りのしわおよびその抑制機構(20分) *春日 保男, 河合 望
- (22) 深絞りの塑性理論(第2報)(20分) 室田忠雄
- (23) ハイドロフォーミングについて(15分) 益田 森治, *室田 忠雄
- (24) 液圧成形法(15分) *福井 伸二, 吉田 清太, 阿部 邦雄
- (25) 剛性体工具による底付円筒の張出し(15分) 福井 伸二, 吉田 清太, 堀田雄次郎

前 刷 上記講演には前刷がありますから 10月31日までに下記あてに着信するように代金を添えてお申込み下さい。

(前刷は全講演をまとめて1冊)

定 価 1冊 金 150円 (送費負担)

○申込先 東京中央局区内 千代田区丸の内2の2 丸ビル 561区 日本機械学会

会 告 (IV)

第1回鉄鋼計測講習会開催案内

品質管理が戦後わが国に導入せられてから短日月の間に急速に普及し、わが鉄鋼業界におけるこれが応用も漸次盛となり着々成果を挙げて居ります。しかしその基礎となるべき計測についてはなお十分でない点があります。この度弊会では工程管理上最も必要な計測の実際問題につき斯界の権威者を講師として下記要領により講習会を開催いたすこととなりましたので奮つて御参加下さい。なお、題目については弊会より鉄鋼関係各社に問合せを出しその回答に基づいて選定したものであります。各社の御希望は広汎に亘つていますので引続き第2回、第3回の講習会開催を予定して居ります。

記

会 期 昭和 30 年 11 月 7 日 (月) より 11 月 9 日 (水) まで 3 日間
 会 場 東京都芝区海岸通 1 丁目 20 番地 東京都立工業奨励館 (国電浜松町下車)
 演 題 並びに時間割

11月7日 (月)	9:00~10:00	品質向上と計測	東京大学工学部教授	山内二郎氏
	10:00~12:00	新しい計測法	東京大学工学部教授	磯部 孝氏
	13:00~14:30	メッキその他被膜の厚さおよび板厚の測定について	神戸工業株式会社	三輪博秀氏
	14:30~16:00	その測定と実施	同上	同上
11月8日 (火)	9:00~12:00	潤滑油の性質とその用法	東京大学理工学研究所教授	曾田範宗氏
	13:00~14:30	サーミスターの性質およびその利用法	電気通信研究所電気部品研究室	川口清一氏
	14:30~16:00	粘度の連続測定	横川電機製作所測量技術部	遠藤富雄氏
11月9日 (水)	9:00~10:30	迅速ガス分析について	東京大学工学部教授	宗宮尙行氏
	10:30~12:00	焼鈍炉保護ガスの分析およびその調節について	東洋鋼鉄株式会社	北村陽一氏
	13:00~14:00	微量ガスの質量分析	(国分寺550-5)日立製作所中央研究所	神原豊三氏
	14:00~15:00	一般の微量ガス分析	北辰電機製作所	堤 厚氏
	15:00~16:00	赤外線応用ガス分析	富士電機株式会社	(未一定)

定 員 100 名

申 込 昭和 30 年 10 月 25 日までに東京都千代田区丸ノ内 2 丁目 10 番地
 日本鉄鋼協会あて講習料をそえて申込下さい。

講習料 1 名 1,500 円 (プリント代を含む)

河栗清好氏